



DAYS
J A P A N

DAYS JAPAN 写真展 2016 地球の上に生きる 世界の未来をつくるために

第12回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞3位「ヨーロッパを目指す難民たち」撮影：セルゲイ・ポノマレフ

会期

2016. **5.28(sat) - 6.19(sun)** 月曜休
11:00～19:00 最終日17時まで

入場無料

会場

生活工房 4階 ワークショップルームB
[三軒茶屋 キャロットタワー]

関連展示 難民問題を考える



第12回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞1位
「新たな生活を求めて」
撮影：ヤニス・ペラキス (Reuters)

3階 生活工房ギャラリー
9:00～20:00

会期中無休／最終日17時まで

近年、中東やアフリカなどからヨーロッパに多数の難民が押し寄せ、世界的な問題として報道されています。どうして彼らは難民となったのか。そもそも難民とはどういう人たちののでしょうか。

これまでのDAYS国際フォトジャーナリズム大賞受賞作品からも振り返り、難民問題について考える手がかりを展示します。

関連イベント①

ジャーナリストの視点から

世界の様々な問題を、写真を通じて伝え続ける広河隆一さんにお話を伺います。



6.5(sun) 14:00～16:00

[トークゲスト]

広河隆一さん
(フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN発行人)

[参加費] 500円

[定員] 50名 事前申込

関連イベント②

アフガニスタンの今～村の暮らしとおもてなしの文化～

厚いおもてなしとお茶の文化が根付くアフガニスタン。現地のスタイルでお茶を飲みながら、アフガンの暮らしやNGOの取り組みを紹介します。



写真提供：日本国際ボランティアセンター

6.11(sat) 14:00～16:30

[進行]

加藤真希さん
(認定NPO法人日本国際ボランティアセンター)

[参加費] 1,000円 お茶・お茶請け付き

[定員] 30名 事前申込

協力：株式会社ユリーカ

世界には、私たちと異なる厳しい現実と直面して暮らしている人々がいいます。

ファインダー越しの世界は紛れもなく本当の現実です。こうした状況でも、彼ら／彼女らは私たちと同じように、与えられた日々を懸命に暮らしています。その生活と私たちの生活は決して無関係ではありません。日本、そして世田谷も世界とつながっています。

第12回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞受賞作品の展示や関連イベントを通じて、日本が直面している現実、世界中で起きている問題と向き合い、私たちが一歩前に足を踏み出すきっかけになることを願います。



第12回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞3位「ネパール大地震」 撮影：ダニエル・ベレフラク

関連イベント①

ジャーナリストの視点から 6.5(sun) 14:00~16:00

トークゲスト 広河隆一さん(フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN 発行人)

フォトジャーナリスト・広河隆一さんは、死と隣り合わせの現場に立ち、世界の様々な問題を写真を通じて伝え続けています。世界の現状を理解すること、それらの問題に対してどう向かい合うべきか？ ジャーナリストとしての想いを伺います。

- 会場 4階 ワークショップルームA
- 参加費 500円 ●定員 50名(事前申込み順)

《広河隆一プロフィール》

1943年生まれ。1967年早稲田大学卒業後、イスラエルに渡り中東戦争に直面。1970年に帰国後もパレスチナの中東問題とチェルノブイリの核問題を中心に取材を重ね、IO.世界報道写真コンテスト大賞、講談社出版文化大賞、早稲田ジャーナリズム大賞、土門拳賞など受賞歴多数。チェルノブイリ子ども基金の設立者。福島の子どもの保養プロジェクト「NPO 法人沖縄・球美(くみ)の里」名誉理事長。
<http://www.daysjapan.net/>



関連イベント②

アフガニスタンの今 ~村の暮らしとおもてなしの文化~ 6.11(sat) 14:00~16:30

難民や紛争のイメージが先行しがちなアフガニスタンですが、その日常には、日本と同じように、厚いおもてなしとお茶の文化が深く根付いていることをご存知でしょうか？ イスラムの伝統と慣習が根付く村で人々は今、どのような暮らしを送っているのでしょうか。現地のスタイルでお茶とお茶請けをご用意し、ニュースにはならない生活の様子をお話するとともに、そこで取り組まれている家族の健康を守る活動についてご紹介します。

《プログラム》

- ①アフガニスタンのおもてなしの文化って？
- ②アフガン流にお茶を淹れてみよう！
- ③今何が起きているの？ - 現地情勢とそこでの支援活動を知る -

- 会場 4階 ワークショップルームA
- 進行 加藤真希さん <http://www.ngo-jvc.net/>
(認定NPO法人日本国際ボランティアセンター アフガニスタン事業 担当)
- 参加費 1,000円 お茶・お茶請け付き
- 定員 30名(事前申込み順)

協力：株式会社ユリウカ



写真提供：日本国際ボランティアセンター

◎ 関連イベントへの参加申込み方法

(1) 氏名(2)電話番号(3)職業(4)年齢を明記の上、以下のいずれかの方法で、生活工房まで。

■ メール：info@setagaya-ldc.net (件名に「広河隆一トークイベント 参加申込み」もしくは「アフガニスタンの今 参加申込み」と記入)

■ 電話：03-5432-1543

■ ホームページ：<http://www.setagaya-ldc.net/>

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

〒154-0004
東京都世田谷区太子堂4-1-1
キャロットタワー

交通機関のご案内

東急田園都市線 三軒茶屋駅下車 徒歩5分
東急世田谷線 三軒茶屋駅下車 すぐ
東急・小田急バス〈三軒茶屋〉停留所そば

